

授業科目 精神保健学

【担当教員名】 渡 邊 良 弘		対象学年	2	対象学科	社会
		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	4	時間数	60
【概要・一般目標：GIO】 社会と身体、精神をあわせた視点から精神保健の基礎を知ることにより、人の一生における精神保健の課題、パーソナリティ形成と学校・職場・家庭における適応の問題、地域社会と精神保健の相互関係について、臨床につながる常識的判断と関連づけることができる。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 精神保健とは何か、あらましと意義を知る 2. ライフサイクルと精神保健についての認識を得る 3. 家庭・学校・職場・地域社会における精神保健問題について知る 4. 精神保健の施策と法について学ぶ 5. 諸外国の精神保健とわが国の精神保健を比較することができる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	精神保健とは何か 精神保健の概要 歴史的社会的背景			1	講義 金曜日の連続2コマを用いる
2	精神保健の意義と課題 アプローチ			1	講義
3	人と環境と精神保健 人間生態学とは			1	講義
4	人間生態学と精神の健康、環境			1	講義
5	人間の一生と精神保健（1）ライフサイクルと精神保健			2	講義
6	胎児期、乳児期における精神保健			2	講義
7	人間の一生と精神保健（2）幼児期における精神保健			2	講義
8	児童期における精神保健			2	講義
9	人間の一生と精神保健（3）思春期・青年期における精神保健			2	講義
10	成年期における精神保健			2	講義
11	人間の一生と精神保健（4）老人期における精神保健			2	講義
12	人生の完結と精神保健			2	講義
13	生活の場所と精神保健 家庭・学校における精神保健			3	講義
14	職場・地域における精神保健			3	講義
15	精神保健問題の診断（1）精神障害の分類			3	講義
16	精神保健問題のアセスメント			3	講義
17	精神保健問題の診断（2）社会病理現象 家庭崩壊 不登校			3	講義
18	社会病理現象 アルコール 薬物乱用			3	講義
19	精神保健問題へのアプローチ（1）精神障害者へのアプローチ			3	講義
20	認知症へのアプローチ			3	講義
21	精神保健問題へのアプローチ（2）薬物、子どもと家庭の精神保健へのアプローチ			3	講義
22	思春期精神保健へのアプローチ			3	講義
23	精神保健問題へのアプローチ（3）地域精神保健対策			3	講義
24	ターミナルケアと精神保健			3	講義
25	家族と地域における精神保健施策 精神保健施策とは わが国の精神保健施策			4	講義
26	精神保健関連法規			4	講義
27	世界における精神保健サービス 世界とわが国、先進国と開発途上国			5	講義
28	世界的な精神保健課題 サービス向上のために			5	講義
29	わが国の精神保健の現状と課題 精神保健の潮流・現代社会と精神保健			5	講義
30	まとめ				
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 臨床に必要な精神保健学 松久保章（編） 弘文堂 2,700円＋税 精神保健学 日本精神保健福祉士 中央法規出版 2,625円＋税 養成校協会編 その他の資料			
【評価方法】		出席状況（30%）、定期試験（70%） 【履修上の留意点】 出席状況は出席・教科書音読・授業中の質問意見から構成される。 著しい私語など授業の妨げや迷惑な行動はその都度注意する。			